

| | | | | | |
|---|-------|-------------------|------------|---|--|
| 事務事業名 | | 生涯学習推進のつどいの開催事業 | | <input type="checkbox"/> 実施計画登載事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略登載事業 | |
| 政策体系 | 政策名 | 03 豊かな心を育む人づくりの推進 | | 事業期間 | |
| | 施策名 | 11 生涯学習の推進 | | <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 平成11 年度～) | |
| | 基本事業名 | 03 学習活動の促進 | | <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入 | |
| 根拠法令 | | | | 予算科目 会計 款 項 目 事業 01 10 04 01 24 | |
| 所属 | 部課名 | 協働まちづくり部生涯学習課 | | 事務事業区分 | |
| | 課長名 | 山岸 健悦郎 | | A 政策事業 B 施設整備 | |
| | 係名 | 生涯学習係 | 電話 27-3111 | C 施設管理 D 補助金等 | |
| | 担当者 | 松田 ほのか | 内線 277 | E 一般(A～D以外) | |
| 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 生涯学習関係者を集め、事例発表及び講演等を通じて、生涯学習に関する理解を深め、普及・奨励を図る機会とする。また、地区公民館・地域公民館役職員等、公民館活動に功績のあった者に感謝状を贈呈する。 ・毎年度1月下旬頃、市民文化会館、三陸公民館等で開催する。 ・主な業務は、開催要項の決定(テーマ、記念講演講師、事例発表団体等)、対象者への案内(生涯学習・社会教育関係者、講師、事例発表者)、公民館職員等感謝状の作成、事例発表資料作成補助、パンフレット作成、記念写真撮影の準備、当日の準備、運営。 ・主な事業費は、講師の謝金及び費用弁償(旅費)である。 ・令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、例年開催している「生涯学習推進のつどい」の代替として、地区公民館及び学校関係者等を対象に「コミュニティ・スクール研修会」を開催した。 | | | | 全体計画(※期間限定複数年度のみ) 総投入量(千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0 | |

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

前年度実績(前年度に行った主な活動)

市民活動まつりととの共催を計画したが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止。

今年度計画(今年度に計画している主な活動)

社会教育関係施設(中央公民館、図書館、博物館)の活動の紹介・PR
市民活動まつりととの共催

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

生涯学習・社会教育関係者
市民

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

生涯学習の重要性について理解を深める。

④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)

郷土愛を育んでもらうことで、地域づくりの担い手としての意識を高めてもらう。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)

| 名称 | 単位 |
|-------------------|----|
| ア 事例発表件数 | 件 |
| イ 記念講演等開催数 | 回 |
| ウ 活動発表件数(社会教育施設等) | 件 |

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)

| 名称 | 単位 |
|-----------------|----|
| カ 生涯学習・社会教育関係者数 | 人 |
| キ 市民 | 人 |
| ク | |

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)

| 名称 | 単位 |
|--|----|
| サ 生涯学習推進のつどい(R2代替事業)参加者数 | 人 |
| シ よりよい地域にするための地域づくり活動に参加している人の割合(市民意識調査) | % |
| ス | |

(2) 総事業費・指標等の推移

| 投入量 | 事業費 | 財源内訳 | 単位 | 年度 | | | | | | | |
|-------|---------|----------------|----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-----|-----|
| | | | | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(目標) | 5年度(目標) | 6年度(目標) | 7年度(目標) | | |
| 投入量 | 事業費 | 国庫支出金 | 千円 | | | | | | | | |
| | | 都道府県支出金 | 千円 | | | | | | | | |
| | | 地方債 | 千円 | | | | | | | | |
| | | その他 | 千円 | | | | | | | | |
| | | 一般財源 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 事業費計(A) | | | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 人件費 | 正規職員従事人数 | 人 | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | |
| | | 延べ業務時間 | 時間 | 270 | 10 | 150 | 150 | 150 | 150 | | |
| | | 人件費計(B) | 千円 | 1,080 | 40 | 600 | 600 | 600 | 600 | | |
| | | トータルコスト(A)+(B) | | | 千円 | 1,080 | 40 | 600 | 600 | 600 | 600 |
| ⑤活動指標 | | | | | | | | | | | |
| ア | | | 件 | 0 | - | - | - | - | - | - | |
| イ | | | 回 | 1 | - | - | - | - | - | - | |
| ウ | | | 件 | 15 | - | 15 | 15 | 15 | 15 | | |
| ⑥対象指標 | | | | | | | | | | | |
| カ | | | 人 | 364 | - | 364 | 364 | 364 | 364 | | |
| キ | | | 人 | 34,796 | 34,224 | 34,128 | 33,887 | 33,647 | 33,527 | | |
| ク | | | | | | | | | | | |
| ⑦成果指標 | | | | | | | | | | | |
| サ | | | 人 | 46 | - | 300 | 300 | 300 | 300 | | |
| シ | | | % | 21.4 | 21.0 | 21.5 | 22.0 | 22.5 | 23.0 | | |
| ス | | | | | | | | | | | |

| | | | |
|--------|------|-------|-----------------|
| 事務事業ID | 0828 | 事務事業名 | 生涯学習推進のつどいの開催事業 |
|--------|------|-------|-----------------|

| | |
|--|--|
| (3) 事務事業の環境変化・住民意見等 | |
| ① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ | 平成11年度より、従来の社会教育研究大会と市民運動推進大会を統合し、「大船渡市生涯学習・市民運動推進のつどい」として開催してきたが、平成27年度の大船渡市民運動推進協議会の解散により、事業の名称を「大船渡市生涯学習推進のつどい」に変更した。 |
| ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ | 市民の生涯学習に対するニーズが多様化・高度化するともに、社会情勢の急激な変化によって市民による活動がNPO団体をはじめ多様化している。 |
| ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ | 生涯学習推進を目的とした講演のアンケートによると、参加者の多くが“有意義であった”と回答している。 |

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

| | | |
|-----------------|--------------------|--|
| 目的 妥当性 評価 | ① 政策体系との整合性 | <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつかか？意図することが結果に結びついているか？ 生涯学習について、他団体等でどのような取り組みがなされているかを知り、自己及び所属団体での取り組みに反映することができる。もって、生涯学習のまちづくり、市民憲章の具現化に結びつけることができる。 |
| | ② 公共関与の妥当性 | <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 社会情勢の急激な変化により、自己の向上を目指す生涯学習の重要性が高まっていることから、生涯学習について市民が理解を深める機会が必要である。 |
| | ③ 対象・意図の妥当性 | <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 対象は、広く市民に参加を呼びかけていることから、拡大・縮小の余地は無い。 意図についても、生涯学習の推進についての啓発・普及であることから、拡大・縮小の余地は無い。 |
| 有効性 評価 | ④ 成果の向上余地 | <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 類似事業と共催や市広報紙・SNSによる発信により、社会教育関係者以外の方にも生涯学習課に関する事業の紹介、社会教育関係施設(中央公民館、図書館、博物館等)の活動を紹介・PRする機会を確保することで、生涯学習情報の提供の向上が期待される。 |
| | ⑤ 廃止・休止の成果への影響 | <input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 関係団体等が、実践団体等の活動状況等を知り、生涯学習について直接的に理解を深め、普及・啓発を図ることができる貴重な機会であることから、廃止・休止した場合は影響がある。 |
| 効率性 評価 | ⑥ 事業費の削減余地 | <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 事業費は、講師及び事例発表者の謝金、旅費であるが、類似事業と共催等とすることで削減が見込める。 |
| | ⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 | <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 類似事業との共催やSNS等による情報発信を主にすることで、業務時間を削減できる。 |
| 公平性 評価 | ⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 | <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 主に生涯学習・社会教育関係者に案内しているが、一般市民にも市広報及びホームページで周知参加を呼びかけており、また、事業の趣旨からいって、特定の個人の受益にとどまらないことから、受益者負担を求めることはなじまない。 |

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

| (1) 改革改善の方向性 | | (2) 改革・改善による期待成果 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|--|---|----|--|-----|--|--|----|----|----|----|----|---|--|--|----|--|--|---|----|--|---|---|
| 1 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止 | 市民活動まつり等の類似事業との共催により、事業費を削減するとともに、生涯学習の理解を深める場や活動の振り返り、情報交換等の場を確保することもできる。 | 左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) | <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> | | | コスト | | | 削減 | 維持 | 増加 | 成果 | 向上 | ● | | | 維持 | | | × | 低下 | | × | × |
| | | コスト | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 削減 | 維持 | 増加 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 成果 | 向上 | ● | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 維持 | | | × | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 低下 | | × | × | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・類似事業との目的のすり合わせや社会教育関係者等の主体的な参画方法について、検討が必要である。 ・参集型での実施は、事例発表の調整や参加者の確保等、参加する側にとっても負担が大きく、情報提供や発信といった形に切り替えることについても検討が必要。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

4 課長等意見

| | |
|---|---|
| (1) 今後の方向性 | (2) 全体総括・今後の改革改善の内容 |
| 1 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止 | 市民の主体的な学習活動を促進するため、継続することが望ましいが、市民活動分野の類似事業との共催や統合を見据えつつ、事業そのものの在り方について再検討する必要がある。 また、参集型での実施は、参加者にとっても負担が大きいため、将来的には「つどい」としての参集型開催は終了し、市広報紙やSNSによる生涯学習活動内容の情報発信といった形への移行を検討する必要がある。 |